

報道関係者各位



「木を魅せる」木造商業ビルが神戸元町に誕生 「MOTOMACHI Wood Terrace」

三菱地所ホーム株式会社が設計・施工をした、神戸元町の木造商業ビル「MOTOMACHI Wood Terrace」が2月14日にアパレル路面店として営業を開始しました。

「MOTOMACHI Wood Terrace」は、事業計画からテナント誘致までトータルに企画した、非住宅・都市木造の象徴的なプロジェクトとして、木の構造躯体を「見せる（魅せる）」ことをコンセプトとした木造商業ビルです。環境への配慮を意識し、CLT（Cross Laminated Timber：直交集成板）床板や梁を現し（あらわし）にした内観、ガラス越しの木造躯体が目を惹く外観が特徴です。

木造住宅メーカーとして2024年7月に設立40周年を迎えた当社は、住宅以外の用途にも木造建築へのシフトが進むなか、三菱地所グループの建築用木材の生産から流通、施工、販売に至る、川上から川下まで一貫する統合型ビジネスモデルにおいて、木造中大規模建築の施工を担い、都市の「木造木質化」に向け事業展開を図っています。特に土地の有効活用、店舗やオフィスなどの非住宅建築や施設系建築の「木造木質化」に注力し、三菱地所グループ内外との連携により、木材の有効活用を推進し、社会的意義のある新たな価値創造、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

【物件概要】

建築地：兵庫県神戸市中央区元町通 1-11-1

用途：店舗

構造：木造軸組み工法（地上2階建て）

建築面積：34.38㎡（10.39坪）

延べ面積：67.33㎡（20.36坪）

テナント：株式会社マザーハウス

【株式会社マザーハウスについて】

「途上国から世界に通用するブランドをつくる」を理念に掲げ、途上国の可能性を形にして、各国の天然素材と職人の技術を活かしたモノづくりを世界中のお客様に届けるアパレル企業。生産国は6か国に広がり国内外53店舗を展開しています。



◆木造化の意義

100 m²以下の2階建てで計画することで準耐火建築が可能となり、木の構造躯体を現しとすることができました。鉄筋コンクリート造と比べ工期が短縮され、労務費削減など建設コスト面でもメリットがあります。

また、木造化により、同等規模の鉄筋コンクリート造と比較して、ライフサイクルアセスメントにおけるCO₂排出量を80%以上削減し、カーボンニュートラルの実現にも貢献しています。さらに、木材の使用により、調湿効果やリラックス効果が得られ、商品のコンディションの維持やお客様の購買意欲向上にも寄与することが期待されます。

昨今、SDGs やウェルビーイングを意識する企業が増えており、テナント誘致にも「木造木質化」が有効になっています。今回出店する、創業当時より天然素材やその生産各国の技術を重視する株式会社マザーハウスから、天然素材を活かした木造建築の設計コンセプトに共感いただき、企画の初期段階から協働することになりました。



◆設計のポイント

人通りの多い角地において、木材の素材を外からも感じられるように、二方向をガラス張りのカーテンウォールとしました。またガラス面を大きく見せられるよう、天空に向けて張り出すような設計とし、ガラス越しに見える木造躯体が目を惹く外観が特徴です。

内部は木造躯体のCLT素材を現しにすることで、木材の存在感・安心感・力強さを感じられるデザインとしました。床躯体梁をたすき掛けでデザインし、金物が見えないように工夫することで、天井を見上げたときに木の美しさを感じられるように演出しました。



＜本件に関するお問い合わせ先＞

三菱地所ホーム株式会社 広報・サステナビリティ推進部 広報グループ

E-mail : pr_ad@mjhome.co.jp

担当 野田 : 070-1346-8812 / 横須賀 : 080-4137-6032



三菱地所ホームは2024年7月に設立40周年を迎えました。
これからも「お客様に選ばれ続ける会社」であることを目指してまいります。